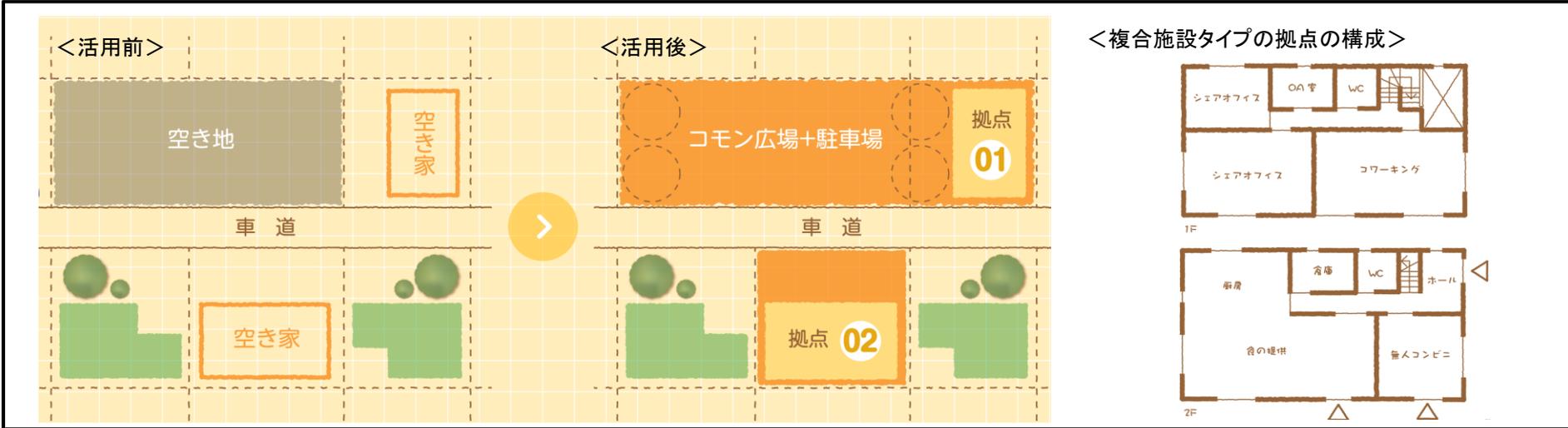


高蔵寺ニュータウンの空き家・空き地を活用した多世代共通課題解決型サービス 拠点モデル形成事業（高蔵寺まちづくり株式会社）

課題	エリアの大半を第一種低層住宅専用地域が占め、高齢の居住者が増加傾向にある戸建てエリアでは、生活サービス拠点の維持・創出が困難となり、地域の停滞につながっていることが課題となっている。
目的	既に空き家となっている、または、低未利用の土地といった既存ストックを民間事業者で活用し、コモンスペース・生活利便施設などの多様な機能の導入を図ることで、身近な地域で、高齢者や若い世代のニーズに合った多世代共生型、さらには既存住民、新規居住者のニーズも満たすことができる活用モデルの形成を目指すもの。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家等所有者及び民間事業者等、多種多様な関係者を巻き込んだサービス拠点形成を検討する。 ・検討にあたっては、ビジネスモデルへの発展性・土地の集約(小規模区画整理)・今般の新型コロナウイルス感染症対策による「住まい方」「働き方」等、将来ニーズへの対応を加味する。
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家等所有者、地域住民、民間事業者向けの啓蒙パンフレット ・行政・事業者向けのサービス拠点の整備・運用マニュアル

◎空き家・空き地を活用したサービス拠点モデル



- <拠点①(複合施設タイプ)に導入する機能>
- ・食事提供サービス(惣菜・半調理品の販売、イートイン)
 - ・シェアオフィス(テレワーカー、シニア、主婦など)
 - ・宅配ボックス
 - ・無人コンビニ
 - * 多機能な拠点施設を導入

- <拠点②(単独施設タイプ)の業種>
- ・民間学童
 - ・デイサービス
 - ・ナーシングホーム
 - * 拠点①から食事サービスの提供も可能

- <コモン広場+駐車場に導入する機能>
- ・施設用・2台目駐車場
 - ・ハートフルパーキング
 - ・移動販売車・キッチンカー
 - ・カーシェア
 - * 収益から維持管理費を確保